

東京大学グローバル教育センター日本語教育部門 非常勤講師の公募について

本部門では、下記の通り非常勤講師を公募いたしますので、お知らせいたします。

職務内容	主に本学の後期課程学生・大学院生・研究者に対する初級～中上級の日本語教育，及びそのために共同で行う教育方法開発等への参画
募集人数	若干名
契約期間	2024年4月1日～2025年3月31日
更新の有無	更新する場合があります。更新する場合は，1年ごとに行う。但し更新回数は2回を限度とする。契約期間が満了した場合の更新については，東京大学における教員の就業に関する規則の定めるところにより，予算の状況及び従事している業務の必要により，かつ，当該非常勤講師の勤務成績の評価に基づき行う。
試用期間	採用された日から14日間
就業場所	東京大学グローバル教育センター日本語教育部門（日本語教育センター）。ただし，主としてオンライン（Zoom）授業。時期により，東京大学本郷キャンパス，一部駒場Ⅱキャンパスでの授業もありうる（応相談）。
就業日・就業時間	<ul style="list-style-type: none"> ・4月中旬～7月下旬，10月中旬～12月中旬，1月上旬～下旬の間，週2日以上出勤し，原則として 授業を週 4コマ以上担当（1コマ105分），あわせて授業に関連する職務（教材作成，提出物のチェックなどの他，年数回のミーティングへの出席なども含む）を担当する。 ・上記以外の期間についても，臨時に開講する短期コース等を担当することがある。 ・応募時点では，2024年度の「勤務可能な曜日」を特定して届け出る必要はない。担当曜日は，届け出られた「勤務可能な曜日」よりも少なくなる場合がある。
休日	土・日，祝日，年末年始（12月29日～1月3日）
給与等	東京大学非常勤講師の就業に関する規程に基づき，年齢・実績・能力等に基づき決定する。規程は下記参照。 https://www.u-tokyo.ac.jp/gen01/reiki_int/reiki_syuki/syuki33.pdf
加入保険	法令の定めるところによる。
応募要件	<ol style="list-style-type: none"> 1. <u>勤務上の要件</u> 上記職務内容に対応できる方。 2. <u>学歴</u> 大学院修士課程を修了している方。（2024年3月までに修了見込みの方を含む。ただし，2024年4月時点で，東京大学に在学予定の方は応募不可。） 3. <u>日本語教育歴</u> 本学の後期課程学生・大学院生・研究者を教えるのにふさわしい教育歴と，それに基づく知見を有する方。（ただし，「個人教授」「TA」は日本語教育歴の計算に含めない。）

	<p><u>4. 日本語教授者としての要件</u> 下記の各項をすべて満たす方。</p> <p>(1) 初級～中上級学習者に、一般の教材や本センターの開発教材を用いて、学習者が学んだことを教室外の実際の日本語使用に活かせるような教育を行える方。</p> <p>(2) 日本語教育学界の研究の蓄積と最近の動向を把握し、それらを踏まえた効果的な教育と教材作成を行える方。</p> <p>(3) 他の教授者と協働して、本センターの学習者の実状にふさわしい日本語教育を追究できる方。</p>
<p>応募書類 ・提出方法</p>	<p><u>1. 応募書類</u> ※別紙参照</p> <p><u>2. 提出方法</u></p> <p>以下のWebサイトに登録、同サイトの求人情報のJREC-IN Portal Web応募により別紙の「応募書類」(1)～(5)を提出すること。</p> <p>https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop</p> <p>なお、「応募書類」は、(1)～(5)の番号順に重ねて<u>1つのPDFファイルにすること。</u></p> <p>※応募書類は返却しないので、予めご了承ください。</p>
<p>応募期限</p>	<p><u>2023年12月11日(月)</u></p>
<p>選考方法</p>	<p><u>1. 第1次選考：書類選考</u></p> <p>12月19日(火)をめぐりに結果を(通過の場合は第2次選考の日時も)eメールで通知する。</p> <p><u>2. 第2次選考：面接・模擬授業等の実施</u></p> <p>第1次選考通過者を対象に、2024年1月8日(祝・月)、9日(火)のいずれかに、時間帯を指定して、オンライン(Zoom)で面接・模擬授業等を実施する。所要時間は60分程度。選考は第2次選考までとし、採否は1月中に通知する。詳細は、第1次選考通過者に通知する。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>東京大学 教育・学生支援部 国際教育推進課 企画・総務チーム (日本語教育部門事務 担当) ic.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp</p>
<p>募集者名称</p>	<p>国立大学法人東京大学</p>
<p>その他</p>	<p>取得した個人情報は、本選考以外の目的には利用することはない。</p>

別紙

[東京大学グローバル教育センター日本語教育部門非常勤講師公募（2024 年度）応募書類]

(1) 履歴書 以下の要領で記載し、写真も貼付すること。

- ・年齢：2024年4月1日現在で、生年は西暦で記す。
- ・連絡先：日本国内の郵便宛先・電話番号および「12月下旬から1月にかけてメールを読めるメールアドレス」を記す。
- ・学歴・職歴：応募時現在で記し、近く予定されることは「見込」と記す。職歴は、退職時期もわかるように記す。日本語教育に関する職歴は、専任・非常勤を問わず記す。ただし、個人教授とTAは、記さないこと。

(2) 授業案 (教案) 動詞のいわゆる「意向形」（「帰ろう・見よう」等）と、それをを用いた言い方を新規項目として教える具体的な授業案を、下記の条件に沿って作成すること。

- ① 授業のゴール：学習者が、この形式を学ぶことによって、これで何が伝えられるようになるのかを、自らの生活の具体的な文脈に照らして理解し、それを実現できるようになることをめざす。
- ② 学習段階：初級全課程の約半分を終えた段階。
- ③ 関連表現や既習事項との関係：1) 「～たい」は既習とする。2) 「普通形 (4 形) + と思う」は既習とする。
- ④ 学習者：世界各国からの留学生。（本学の後期課程学生・大学院生、母語はさまざま、約 10 人）
- ⑤ 教室での使用言語：できるだけ日本語を使用するが、必要に応じて英語も使用。
- ⑥ 授業時間：105 分。
- ⑦ 授業案の書式：自由。
- ⑧ 分量：A4 判 3 枚以内。（タスク等で補助教材を使う場合は、その概要がわかる資料を、授業案本体の後に付け加えて提出。その資料も A4 判、枚数は本体と別に 3 枚以内とする）

* 授業案の審査は、応募者名が伏せられた状態で厳正に行われます。

(3) 「日本語教育における私の現在の関心／問題意識」 （A4 判 1 枚以内）

上記のテーマについて、各自の教育体験に基づき、できるだけ具体的に、実践可能な方向を探りつつ書くこと。対象とする学習者のレベルは、初級～中級とする。

(4) 主要研究業績表 修士（博士）論文の題目を記すとともに、発表論文・口頭発表・公刊された教材などがあれば、題目その他必要な情報を記すこと。現物やコピーの添付は、現時点では必要ない（第1次選考後に、業績の一部の現物かコピーの提出をお願いすることがある）。

(5) 第2次選考の日時に関する制約 第1次選考を通過した場合、1月8日(祝・月)、9日(火)のいずれかに、時間帯を指定して第2次選考を行う。このうち都合の悪い時間帯があれば（制約がない場合もその旨）記すこと。なお、制約が多すぎた場合は、対応できないこともあるので留意すること。

※本部門の詳細はこちらをご覧ください。 <https://globe.u-tokyo.ac.jp/nkc/index.html>

以上